

『大旗』

ちょりーす☆大旗隊のニッキーです。
ひょんな事から・・・というか、隊長の強引な誘いにより始めた旗振りも2年目になりました。そんな訳で大旗隊にスポットを当ててみたいと思います。
大旗には以下の種類があります。
「緑十字」、「一旗当千」、UMのシンボルマークの犀籠をあしらった「黒」、「緑黒」、「緑白」、「雷鳥狂」、「松本」、「信州松本」、ほとんどダンマクに近い「雅」と「州都松本」。

俺は今年からデビューの「信州松本」を振ってるんですが縦3m横4.5mと本当にデカイ！
でも、パラシュートの素材で出来ているので見た目ほどは重くないです。しかし、旗振りは天候の影響をモロに受けます。
雨が降れば大旗が水を吸い重くなり、風が吹けば煽られて振り辛くなります。今年あまり天気の良い試合が多かったけど、大旗隊の誰一人として弱音を吐くことなくスタジアムと試合に華を添えるべくやってきました。
自画自賛ですね、ハイ。
でも、みなさんはスタジアムで見る大旗にどのような感想をお持ちですか？
あまり大旗の評価を聞いた事がないので、何かありましたら最寄の大旗隊に遠慮なく。

次に旗の振り方なんですが、単に上下に直線的に振ると旗が絡まるので、8の字を描くように振ります。思いっきり速く振ったり、優雅に大きく振ったり、自由に想像力を働かせ選手達を鼓舞するべく気持ちを込めています。
そして、相手チームが目前のゴールに攻めてきたときには、旗を横に振ったり不規則に動かして相手選手を目くらましします。
ここまで読んでいただいて「やってみたい！」「自分にも出来そう」「もしかしてダイエット効果があるかも！」などと思った方。
思い立ったが吉日！あなたも大旗を振ってみませんか？
女性の旗振りもあるし、力自慢でなくて良いですよ。
ぜひぜひ、お気軽にゴール裏の大旗隊まで。

さて、いよいよ北信越リーグホーム最終戦です。
リーグ優勝はありませんが、俺は単純に「山雅の勝利」が見たいです。
もう、どこのチームがリーグ優勝しようと興味ありません。
勝って勝って勝ちまくって強くなって、全社優勝、そして地域決勝を勝ち抜きJFLを目指して欲しい。
勝利の旗を掲げさせろ！蹴散らせJSC！

【 written by ニッキー順 】

Thanks for

そういえば、すっかり馴染んでしまったけれど、松本山雅の試合を見るのにお金がかかるようになったんですね。
たった7試合だけけれど、それが当たり前のように感じます。
例えば小額であっても「有料化」となれば、クラブはそれ相応の責任も出てきますし、観客である僕らは求める物も出てくる。
ただ、やっていることは『偶然性』を含んだスポーツ。
松本山雅の試合に来てくれる人が望むのは勝利。でもその希望は毎回満たされるとは限らない。
毎回勝つところだけ見たいのなら、そういう対戦相手だけがいるところに行けばいいだろうけど、それはもう「スポーツ」じゃないよね。悔しいことも多いし、悲しいこともあるけど、たまにやってくる忘れられない感動があるから楽しいわけで。
とはいえ、クラブは多くの人に楽しんでほしいし、いつ来ても楽しいものだと思ってもらえるように頑張るわけです。「負けても楽しいスタジアム」。多くのスポーツクラブが目指す高みの一つ。
山雅も当然それを目指します。その目指す姿勢がクラブの責任なんですよ。

それを支えている人たちがいます。
Team Vamos. 松本山雅を支えるボランティア団体です。

アルウィンに来るたびに笑顔で迎えてくれるのが彼らです。
お手元にあるであろうマッチディを渡してくれるのが彼らです。
試合を盛り上げるための演出を支えているのが彼らです。
松本山雅の試合を見に来た人は、必ずどこかで彼らのサポートを受けています。会場がオープンになり、試合が始まり、会場を閉じるまで。彼らはそこで行なわれている「試合」から距離を置き、山雅を支えるために・山雅を見に来てくれた方々のために活動をしています。

あなた達がいるから、僕らは試合を楽しむことが出来る。
あなた達がいるから、僕らは週末を待ちたいと思える。
あなた達がいるから、僕らの山雅は大きくなったのだと思う。

有料化を支えた皆さんに最大の敬意を。松本のボラは、少なくとも北信越最強だと思ってる。最頂目と言われようが本当にそう思うのだから仕方ない。
今日はホームゲーム最終戦。シーズン通じての運営お疲れ様でした。

大きな声でありがとうを。
一緒にもっと高いところ行こうぜ。

【 written by marusan 】

#7 川田 和宏

原曲：Brahman/deep

走れ川田 勝利のため 川田！ラララ ラーラーラーラー
決めるゴール その左で 川田！ラララ ラーラーラーラー

#10 柿本 倫明

原曲：ゴダイゴ/Beautiful Name

カキモト ミチアキ！ カキモト！ ミチアキ！

#11 吉田 賢太郎

Hi-STANDARD/Stay Gold

ラーラーラ 吉田賢太郎 get GOAL！
ラーラーラ 吉田賢太郎 get GOAL！

#19 阿部 琢久哉

原曲：映画『Song of the south』より「Zip-A-Dee-Doo-Dah」

俺たちのタクヤ ラーラーララララ ララララ
俺たちのタクヤ ララララーラ ララララ

#23 鈴木 亮平

原曲：TRIPLE CLUTCH/TASTE GOOD

鈴木亮平、亮平！俺たちのー 鈴木亮平！ ×2

#25 大西 康平

原曲：the band apart/snowscape

オーオ 大西康平！オーオ 大西康平！

#30 原 裕晃

原曲：矢沢永吉/止まらないHa~Ha
魅せてくれ！ (HA~RA!)

俺たちの！ (HA~RA!)

守護神！守護神、守護神 to win！

ちょりーす (笑)

「松本山雅の応援をよろしくお願いします。」

その日アルウィンの駐車場で開催されていたフリマに来ていた私は1人の学生らしき男性からそう声を掛けられ何となくスタジアムに足を運びサッカーの試合を観戦した。2006年6月11日これが私の山雅の試合初観戦、そして山雅にのめり込んで行く幕開けの日となったのです。

その日の対戦相手は先日山雅がアウェイの地で見事2-5で勝利を収めた相手、ツエーゲン金沢。しかし、その時の試合は先日の試合とはかけ離れたものでした。背番号「7」土橋選手の一発レッドでの退場が山雅は10人での試合となりその後は完全に相手に押されムード一色。結局その試合は0-3で惨敗でした。

でもその時「山雅の試合また観に来たいな・・・」そう思いました。

今思えばあの時大学生らしき男性から声を掛けられていなかったら「山雅のある生活」なんてなかったかも知れません。

その後アルウィンで山雅の試合を観戦していくうちにチームとは別に私にはもう1つ気になっている事が・・・。何を隠そう「ULTRAS MATSUMOTO」存在です。ゴール裏で声を出し太鼓をたたき声を出しながら応援し続けている人たちがとても新鮮でカッコ良くて。私もあんな風に応援してみたいと思うようになっていったのです。少しでも近づけるようにフリーペーパーを見ながら選手の顔と名前、選手コール、チャントを必死で覚えたりして。でもゴール裏にはなかなか足を踏み入れる事が出来なくて最初はゴール裏の隅のほうで応援してたっけ。そんなある日「一緒に(バンデラの)中で応援しませんか？」と声を掛けられて初めてバンデラの中での応援に加わったときは嬉しくて試合よりも「UM」の人たちばかりを見ていたなあ・・・。

山雅ってファミリーで応援している方がたくさんいますよね。私もその中の1人ですが、もっと、もっと大勢の人たちにゴール裏に来てもらい一緒に応援して欲しいと思います。もしあの時の私のようにゴール裏に行ってみたくいけど何となく勇気がなくて・・・って思っている方がいたら思い切ってゴール裏に来てませんか？一緒に応援しましょう！

さて、本日迎え撃つジャパンサッカーカレッジ、JSC戦で私が忘れる事の出来ない一戦といえば昨年リーグ優勝を掛けた聖籠での試合です。今日のホーム最終戦で山雅が優勝争いに名を連ねていないのが本当に悔しいです。今季リーグ制覇は断たれてしまったけど、だからと言って今日の試合も負ける訳にはいきません！

まだ私たちには目指しているものがあるから。私たちも、昨日のぼんぼんで足が痛くたって選手と一緒に90分間戦います。そしてJFLに行く、絶対に！目指すものがあるから強くなれるんだと思います。

「勝とうと思うな！勝ちに行け！」

ホーム最終戦勝利で飾りましょう。

【 written by IZUMI 】

山雅の試合を始めて観たときのことは今でも覚えている。あの興奮。そして私はその日、ずっと探していたものを見つけた。
そこには初めてJリーグの試合を観に行ったとき感じた衝撃と同じものがあった。試合前から始まったサポーターの大声援、それはチームを応援できることへの喜びと誇りに満ちていた。そしてその声援を背に誇らしく力強くプレーする選手たち。そこにはサッカーが溢れ、皆がサッカーを通して繋がっていた。「地元はこの熱はないな・・・」と思っていたものがそこには確かにあった。

その試合のハーフタイム、いてもたってもいられず気付いたときにはゴール裏にいた。最初はゴール裏の隅っこで大人しくしていたのが、何試の度にゴール裏に行くうちにバンテラの中に誘われ、気がつけばゴール裏が私の応援場所になっていた。

今アルウィンにはサッカーが溢れ、皆が山雅を通して繋がっている。そしてそんな人々から山雅は、サッカーは地域にも確実に溢れだしてきている。サッカーのある生活、山雅のある生活。

なんて幸せなのだろう。。。

今日はリーグ戦ホーム最終戦。優勝争いに加わられてないことはとってもとっても悔しいけれど、山雅にはまだこれから本当に負けられないサバイバルのような試合が待ち受けている。山雅の今シーズンはまだ終わっていない。いや、まだまだ終わらせない！！

前節の金沢戦で感じた光を、手ごたえを更に強いものへ変えよう！

そのためにやることはただ一つ、目の前の敵を倒すこと。

蹴散らすこと！！

皆の気持ちを一つにして、J.S.C.から勝利を奪い取ろう！！！！

【 written by ほこ 】

New song!